

2021年9月1日～2022年8月31日の間に本館6階西病棟にご入院された

患者さんにご家族のかたへ

「行動制限解除に対する実態調査」
について

研究機関 獨協医科大学病院 看護部
研究代表者 看護部長 小松 富恵
研究責任者 鳩山 裕美（看護師）
研究分担者 山越 祐太、吉田 愛、江田 規栄子、寺内 浩美、田中 ルツ子

このたび、獨協医科大学病院6階西病棟では、行動制限について患者さんから得られた診療情報を用いて研究を実施しております。この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については、法令等を遵守して研究を行います。

あなたの診療情報について本研究への利用を望まれない場合には、研究責任者または分担者まで連絡をお願いします。

1. 研究の目的 及び 意義

患者さん自身が治療や療養生活において安静や安全を守れず、生命または身体に危険を及ぼす場合、患者さんの安全確保や安全に治療が受けられることを目的に行動制限を実施しています。当院では、行動制限の開始時や実施中には医師と看護師とで協議し、マニュアルを基に行動制限の判断や観察を行っています。しかし、行動制限解除への判断は難しい現状もあり、行動制限期間の長期化に繋がっているのではないかと考えます。

この研究では、当病棟で実施されている行動制限の現状を調査することが目的であり、行動制限解除に向けた判断や看護介入の示唆を得ることにより、看護の質の向上に繋げていきたいと考えます。

獨協医科大学病院臨床研究審査委員会の承認（病看 29156）と病院長の許可を得ています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2021年9月1日～2022年8月31日の間に獨協医科大学病院6階西病棟入院されていた患者さんのうち、行動制限の実施記録がある方を対象とし、約90名の方にご参加いただく予定です。

2) 研究実施期間

本研究の実施許可日 ～ 2023年7月31日

3) 研究方法

2021年9月1日～2022年8月31日までの間に実施した行動制限の内容や期間、開始の理由や解除に向けた看護介入について、電子カルテより情報を収集して現状を分析します。

4) 使用する試料・情報

◇ 研究に使用する情報

- ・年齢、性別、疾患、治療内容、日常生活自立度、意識レベル（入院時）、認知症の既往、認知症高齢者の日常生活自立度評価、オレンジチーム介入の有無、入院期間、行動制限開始時期、行動制限期間、行動制限開始の理由・看護記録、行動制限解除の判断に関する看護記録、行動制限解除後の問題行動や行動制限再開の有無、行動制限の種類、入院時に行動制限同意書取得の有無、せん妄ハイリスク薬の使用の有無、内視鏡時の鎮静薬の種類、について電子カルテの診療情報からデータを収集します。
- ・当該診療情報の使用については、研究計画書に従って、特定の個人を識別することができないよう加工しており安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

5) 試料・情報の保存

本研究に使用した情報は、研究終了後5年間保存ののち、速やかにデータを削除、破棄します。

6) 研究計画書の開示

患者さん等からのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、本研究計画の資料等を閲覧することができます。

7) 研究成果の取扱い

本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しま

せん。

8)問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、2023年4月30日までに下記にお申し出ください。試料・情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。ご了承ください。

獨協医科大学病院	看護部本館6階西病棟
研究担当者	鳩山 裕美
研究分担者	山越 祐太、吉田 愛、江田 規栄子、寺内 浩美、田中 ルツ子（看護師長）
連絡先	栃木県下都賀郡壬生町北小林880 獨協医科大学病院 本館6階西病棟 電話 0282-87-2233 対応可能時間：平日 9:00~16:00